接続設定－ ADSL（イー･アクセス）

この章では、ADSL 接続サービス（イー･アクセスコース）をお申し込みいただいた方のために、弊社からレンタルしている ADSL モデムを使ってインターネットへ接続する方法についてご案内しています。お客様がご用意された ADSL モデムをお使いになる場合は、機器に付属する取扱説明書を併せてご覧ください。

ネットワークを構築するときの留意点 …… 2
付属機器を確認する …… 4
ADSL モデムを接続する …… 7
パソコンを設定する …… 9
IP アドレスの取得を確認する …… 15
インターネットに接続する …… 18
上級者向けの設定をする …… 23

ネットワークを構築するときの留意点

ご契約されたサービスによって、ネットワークを構築するときの留意点が異なります。

ネットワーク構築のサポート

ネットワーク環境はお客様ごとに異なり、その環境を構築した方でなければ適切に設定できません。そのため、αWeb サポートセンター及びイー・アクセスでは、ネットワーク構築などについてサポートいたしかねます。あらかじめご承知おきください。

サービスごとの特徴（IP アドレス）

ご契約されたサービスによって、グローバル IP アドレスの割り当て方法と、LAN 側のパソコンなどへの IP アドレスの割り当て方法が異なります。

グローバル IP アドレスの割り当て

サービス名	個数	IP アドレスの割り当て
スタンダード接続サービス	1 個	動的（不定期に変化します）
ONE 接続サービス	1 個	固定（「登録完了のお知らせ」をご覧ください）
エンタープライズ接続サービス	8 個または 16 個（※）	

※契約の内容によって異なります。

スタンダード接続サービス／ ONE 接続サービス

弊社よりレンタルしている ADSL モデムには、簡易ルータ機能が内蔵されています。そのため、LAN 側のパソコンなどが複数ある場合、プライベート IP アドレスがそれぞれに割り当てられます。

エンタープライズ接続サービス

取得したグローバル IP アドレスのうちの 3 個は、以下のように用途が決まっています。残りのグローバル IP アドレス（5 個または 13 個）を、LAN 側のパソコンなどに割り当ててください。

ネットワークアドレス	最小の値のアドレス
ブロードキャストアドレス	最大の値のアドレス
ADSL モデムの LAN 側	「開通のお知らせ」をご覧ください

市販のブロードバンドルータを使うには

弊社よりレンタルしている ADSL モデムには、簡易ルータ機能が内蔵されています。そのため、一般的な使い方では、市販のブロードバンドルータを必要としません。
しかし、インターネット電話（VoIP）や VPN 通信を使う際に、ADSL モデムのブロードバンドルータ機能が障害になる場合があります。市販のブロードバンドルータには、これらの用途に対応した製品や、より高性能のファイアウォール機能など多様な機能を備えた製品があります。

ご利用になれるブロードバンドルータ

市販のブロードバンドルータを使う場合は、以下の条件を備えた製品をお買い求めください。
- IP ルータであること。
- IP マスカレード機能を備えていること。
- PPPoE に対応していること。

ブロードバンドルータの接続手順

以下の手順で、ADSL モデムに市販のブロードバンドルータを接続します。

1 ADSL モデムとパソコンだけでインターネットに接続できることを確認します。

※確認方法→本章

※接続できない場合は、設定が間違っていないか確認します。

2 ADSL モデムの簡易ルータ機能を無効にします。（ブリッジモード）

※設定方法→ブロードバンドルータの取扱説明書と「ブリッジモード設定」(P.28)

3 ADSL モデムにブロードバンドルータを接続します。

※接続方法→ブロードバンドルータの取扱説明書

付属機器を確認する

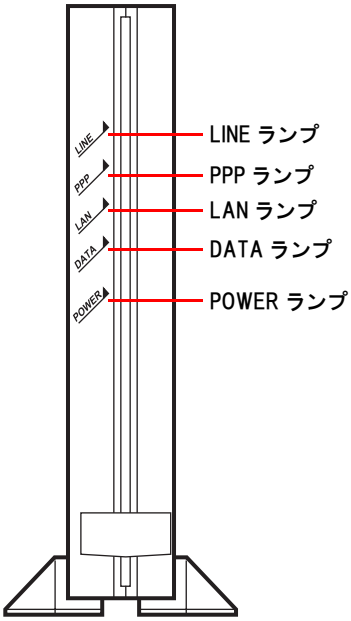
ADSL モデムとスプリッタの、端子やランプの機能を確認します。ADSL モデムの機種によって、端子やランプの名称が異なります。

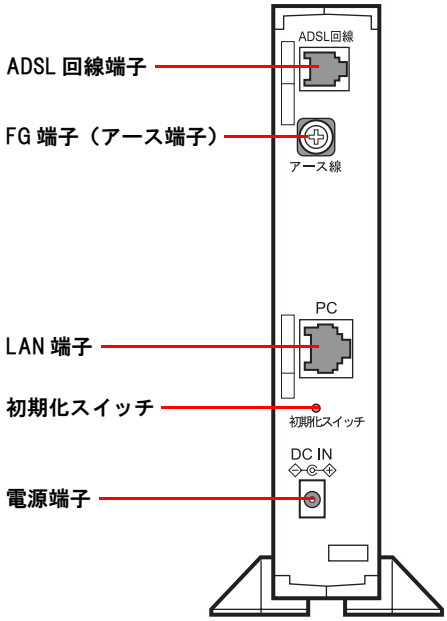
ADSL モデム

NEC 製の DR207C と住友電工製の TE4121C のいずれかが、お手元にレンタルされています。詳しくは、ADSL モデムに付属する取扱説明書をご覧ください。

NEC 製（DR207C）の場合

正常に接続すると、DATA ランプ以外の 4 つのランプが点灯します。





■LINE ランプ
点灯　　：ADSL 回線へのリンクが確立されています。
速い点滅：ADSL 回線の回線状態をチェック中です。（約 0.2 秒間隔）
遅い点滅：ADSL 回線の信号検出待ちです。（約 0.4 秒間隔）

■PPP ランプ
点灯　　：ユーザー ID が認証されました。
速い点滅：相手先から応答がありません。
遅い点滅：ユーザー ID の認証に失敗しました。（約 1 秒間隔）
消灯　　：ブリッジモードになっているか、ADSL 回線へのリンクが確立されていません。

■LAN ランプ
点灯　　：LAN 端子へのリンクが確立されています。
消灯　　：LAN 端子へのリンクが確立していません。

■DATA ランプ
点滅　　：LAN 端子でデータを送受信しています。
消灯　　：LAN 端子でデータを送受信していません。

■POWER ランプ
点灯　　：電源が入っています。
消灯　　：電源が切れています。

■ADSL 回線端子
モジュラーケーブルを接続します。モジュラーケーブルのもう一方の端は、タイプ 1 契約の場合、スプリッタに接続します。タイプ 2 契約の場合は、壁のモジュラーコンセントに接続します。

■FG 端子（アース端子）
アース線を接続するための端子です。

■LAN 端子（100BASE-TX ／ 10BASE-T）
LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルのもう一方の端は、パソコンやハブに接続します。

■初期化スイッチ
ADSL モデムを初期化するときは、初期化スイッチに先が尖っていないピンなどを差し込んだまま、電源端子に AC アダプタを接続します。PPP ランプが点滅したら、ピンを離します。

■電源端子
AC アダプタを接続します。自動的に電源が入ります。

住友電工製（TE4121C）の場合

正常に接続すると、ALARM ランプ以外の 4 つのランプが点灯します。

■POWER ランプ
点灯　　：電源が入っています。
消灯　　：電源が切れています。

■ADSL ランプ
点灯　　：ADSL 回線へのリンクが確立されています。
点滅　　：ADSL 回線の回線状態をチェック中です。
消灯　　：ADSL 信号が検出できません。

■PPP ランプ
緑点灯　：ユーザー ID が認証されました。
橙点滅　：ユーザー ID の認証に失敗しました。
赤点滅　：回線障害の可能性や、他社回線に接続しようとしている可能性があります。
消灯　　：ブリッジモードになっているか、ADSL 回線へのリンクが確立されていません。

■LAN ランプ
点灯　　：LAN 端子へのリンクが確立されています。
消灯　　：LAN 端子へのリンクが確立していません。

■ALARM ランプ
点滅　　：ADSL モデムを初期化してください。詳しくは、下の「初期化スイッチ」をご覧ください。
消灯　　：正常な状態です。

■ADSL 回線端子
モジュラーケーブルを接続します。モジュラーケーブルのもう一方の端は、タイプ 1 契約の場合、スプリッタに接続します。タイプ 2 契約の場合は、壁のモジュラーコンセントに接続します。

■初期化スイッチ
ADSL モデムを初期化するときは、初期化スイッチに先が尖っていないピンなどを差し込んだまま、電源スイッチを OFF から ON にします。約 5 秒後にピンを離します。
PPP ランプが 1 秒ごとに「緑⇔オレンジ」と交互に点灯すれば、初期化は成功です。

■LAN 端子（100BASE-TX ／ 10BASE-T）
LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルのもう一方の端は、パソコンやハブに接続します。

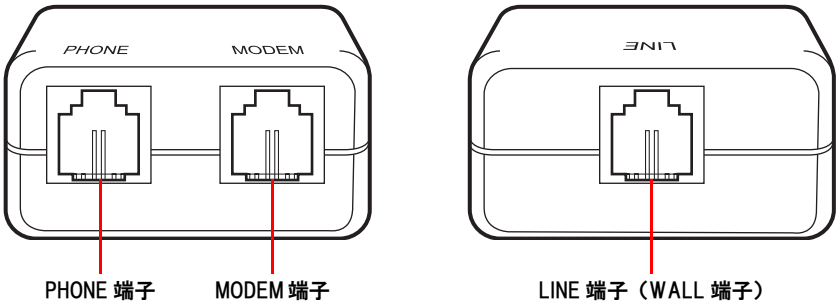
■電源スイッチ
電源の ON ／ OFF を行います。

■電源端子
AC アダプタを接続します。

スプリッタ

アナログ電話と ADSL 回線を併用するタイプ 1 契約で申し込まれた場合、同梱のスプリッタを接続します。
ADSL 回線専用の電話線を使うタイプ 2 契約で申し込まれた場合は、スプリッタを使用しません。

接続方法については、「ADSL モデムを接続する」（P.7）をご覧ください。
スプリッタの形状は、送付時期により異なることがあります。



■LINE 端子（WALL 端子）
壁のモジュラーコンセントに接続したモジュラーケーブルを、ここに接続します。

■MODEM 端子
ADSL モデムに接続したモジュラーケーブルを、ここに接続します。

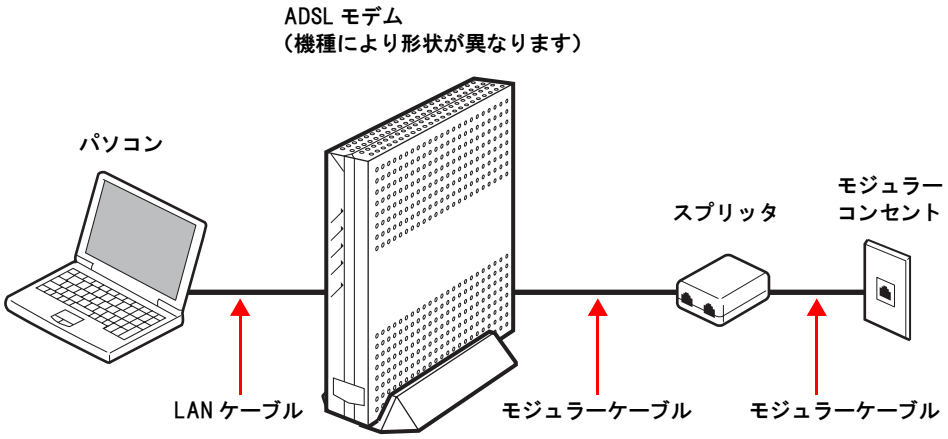
■PHONE 端子
電話機（または FAX）に接続したモジュラーケーブルを、ここに接続します。
電話機のモジュラーケーブルに何らかのアダプタが接続されている場合は、アダプタに接続したモジュラーケーブルを、ここに接続します。

スプリッタとは
ADSL 回線を契約すると、電話機（や FAX）用の音声信号と ADSL モデム用の ADSL 信号が混ざった状態で送信されてきます。混ざった状態の信号はスプリッタを通ると分離され、音声信号は PHONE 端子へ、ADSL 信号は MODEM 端子へ送られます。

ADSL モデムを接続する

ADSL モデムとパソコンを接続し、ADSL ランプの点灯を確認します。パソコンの OS や ADSL の機種に関わりません。

パソコンが 1 台の場合



1 ADSL モデムとスプリッタを、付属のモジュラーケーブルで接続します。

※タイプ 2 契約の場合、この手順を省略します。

2 スプリッタと壁のモジュラーコンセントを、付属のモジュラーケーブルで接続します。

※タイプ 2 契約の場合、ADSL モデムと壁のモジュラーコンセントをモジュラーケーブルで接続します。

3 ADSL モデムとパソコンを、付属の LAN ケーブルで接続します。

4 ADSL モデムの電源を入れます。

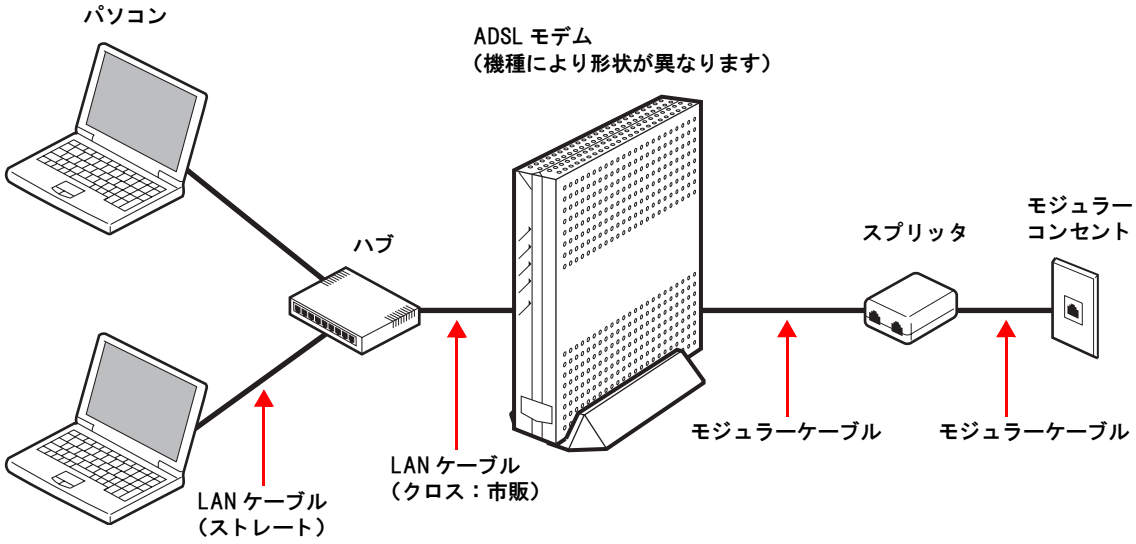
LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯したら、ADSL モデムは正常に動作しています。

ランプが点灯しないときは

LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯しない場合は、ADSL モデムとスプリッタの接続方法を確認してください。それでも点灯しない場合は、ADSL 回線の品質に問題があるかもしれません。弊社サポート窓口までご連絡ください。

パソコンが複数台の場合

複数台のパソコンをインターネットに接続する場合、まず 1 台のパソコンをインターネットに接続してください。
1 台で接続できることを確認したら、パソコンと ADSL モデムのあいだに市販のハブ（100Base-TX 対応品）を挿入します。



1 ADSL モデムとスプリッタを、付属のモジュラーケーブルで接続します。

※タイプ 2 契約の場合、この手順を省略します。

2 スプリッタと壁のモジュラーコンセントを、付属のモジュラーケーブルで接続します。

※タイプ 2 契約の場合、ADSL モデムと壁のモジュラーコンセントをモジュラーケーブルで接続します。

3 ADSL モデムとハブを、市販の LAN ケーブル（クロス）で接続します。

※ハブにアップリンク端子がある場合、アップリンク端子と ADSL モデムを市販の LAN ケーブル（ストレート）で接続できます。

4 ハブとパソコンを、付属の LAN ケーブル（ストレート）で接続します。

5 ADSL モデムの電源を入れます。

LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯したら、ADSL モデムは正常に動作しています。

ランプが点灯しないときは
LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯しない場合は、ADSL モデムとスプリッタの接続方法を確認してください。それでも点灯しない場合は、ADSL 回線の品質に問題があるかもしれません。弊社サポート窓口までご連絡ください。

ネットワークが既にある場合

既存のネットワークに ADSL モデムを追加する場合や、既存のネットワークの ISDN ダイヤルアップルータなどを ADSL モデムで置き換える場合は、まず 1 台のパソコンをインターネットに接続してください。
1 台で接続できることを確認したら、ADSL モデムの設定を変更してから、既存のネットワークに ADSL モデムを追加または置き換えます。ADSL モデムの設定変更については、「既存のネットワークで使う設定」(P.23）をご覧ください。

パソコンを設定する

αWeb インターネット接続サービスに接続できるように、パソコンを設定します。パソコンの OS によって操作が異なります。

全ての OS に共通

パソコンの LAN 端子を確認する

お使いになるパソコンに LAN 端子があるかを確認します。パソコンの LAN 端子の形は、ADSL モデムと同じです。

LAN カードを取り付ける

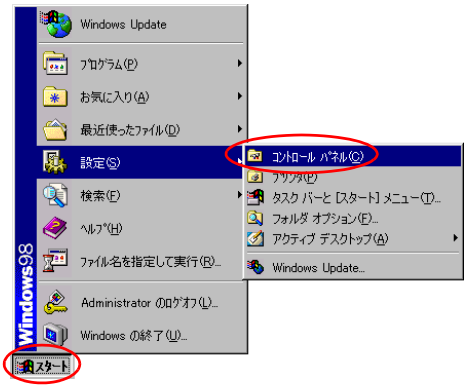
パソコンに LAN 端子がない場合、市販の LAN カード（ネットワークカード）をパソコンに取り付けます。LAN カードの取り付けと設定については、LAN カードに付属する取扱説明書をご覧ください。

既存のネットワークから取り外す

パソコンなどを使ったネットワークを既に構築している場合、ADSL モデムの設定に使うパソコンを、既存のネットワークから取り外します。
ADSL モデムの設定が完了したら、元のネットワークに戻します。

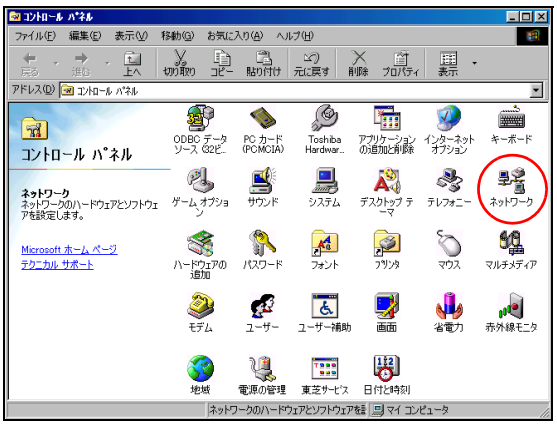
Windows 98 の場合

1「スタート」をクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

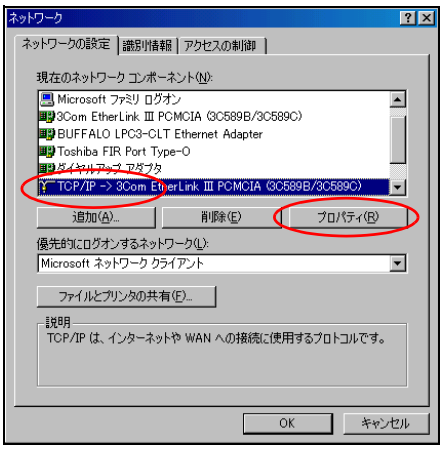


「コントロールパネル」フォルダが表示されます。

2「ネットワーク」をダブルクリックします。

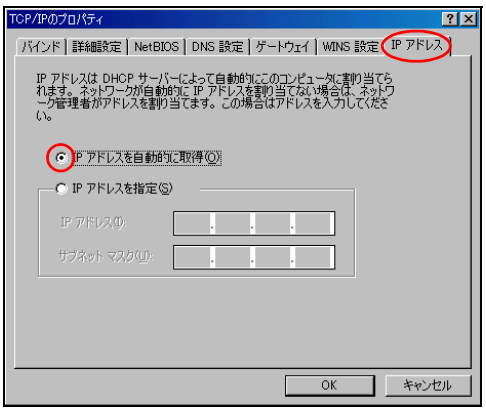


3「TCP/IP…」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

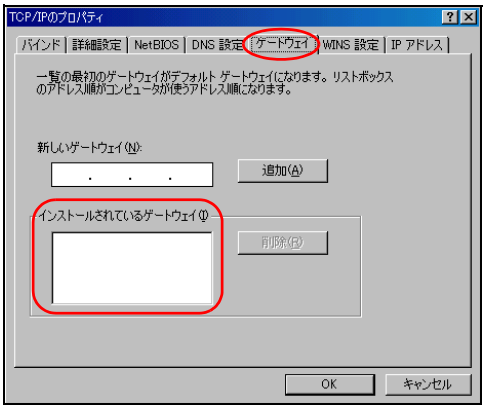


※「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」を選択しないでください。

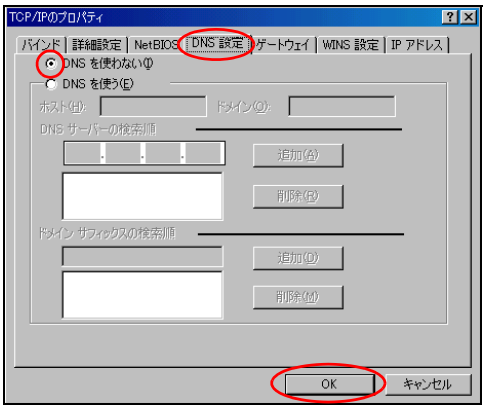
4「IP アドレス」タブをクリックし、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。



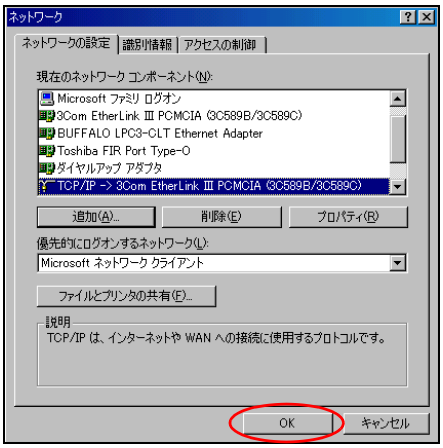
5「ゲートウェイ」タブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」を空欄にします。



6「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使わない」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

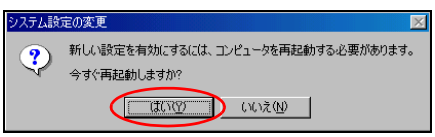


7「OK」ボタンをクリックします。



画面が閉じ、次の手順の画面が表示されます。

8「はい」ボタンをクリックします。

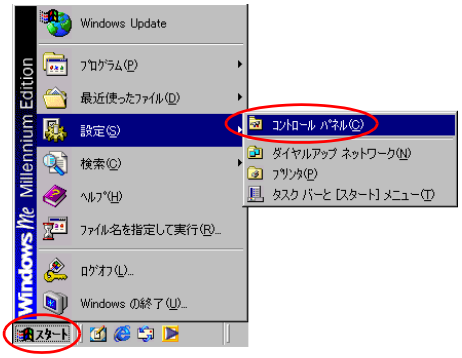


画面が閉じ、設定が終了して、パソコンが再起動します。

続いて「IP アドレスの取得を確認する」（P.15）をご覧ください。

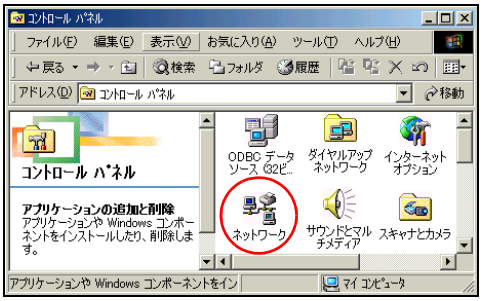
Windows Me の場合

1「スタート」をクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

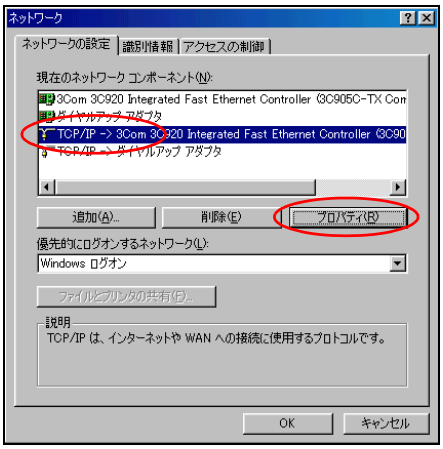


「コントロールパネル」フォルダが表示されます。

2「ネットワーク」をダブルクリックします。

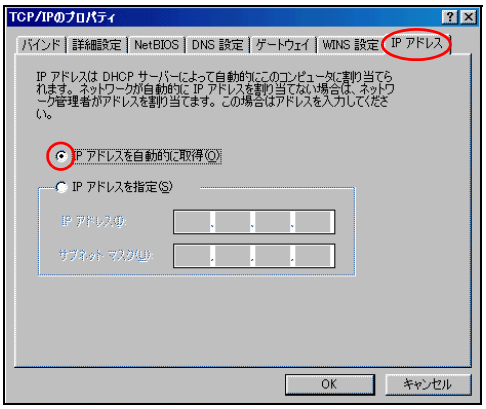


3「TCP/IP…」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

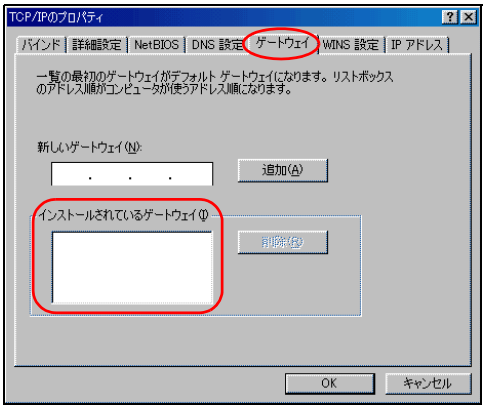


※「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」を選択しないでください。

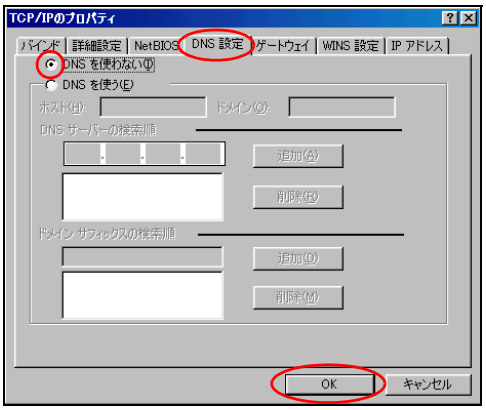
4「IP アドレス」タブをクリックし、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。



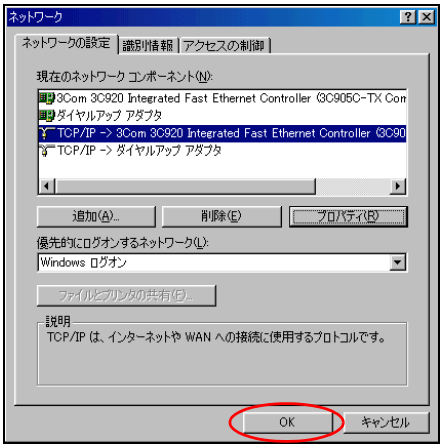
5「ゲートウェイ」タブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」を空欄にします。



6「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使わない」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

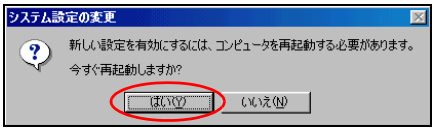


7「OK」ボタンをクリックします。



画面が閉じ、次の手順の画面が表示されます。

8「はい」ボタンをクリックします。

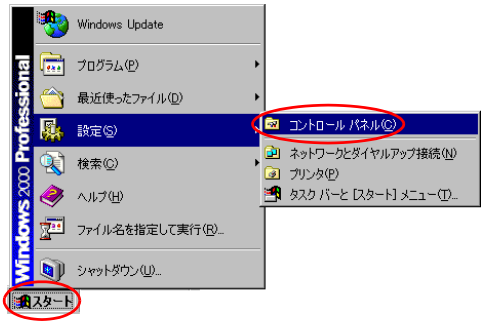


画面が閉じ、設定が終了して、パソコンが再起動します。

続いて「IP アドレスの取得を確認する」（P.15）をご覧ください。

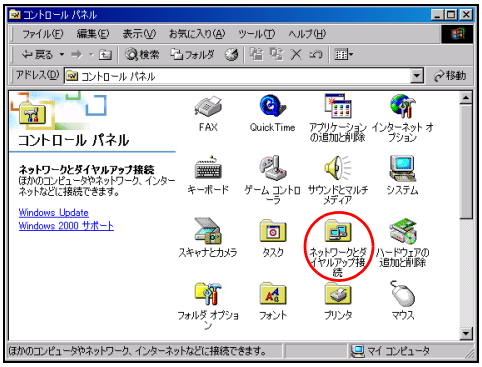
Windows 2000 の場合

1「スタート」をクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

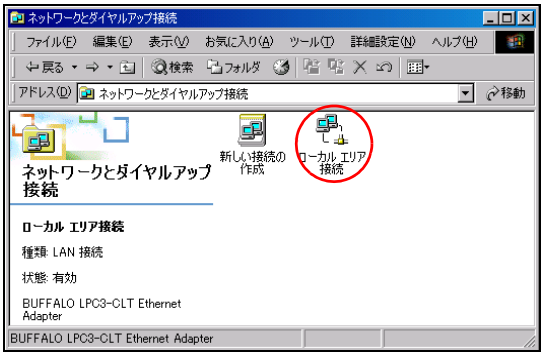


「コントロールパネル」フォルダが表示されます。

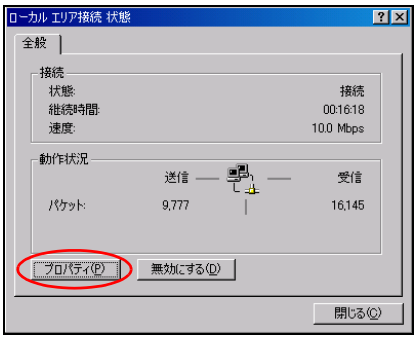
2「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



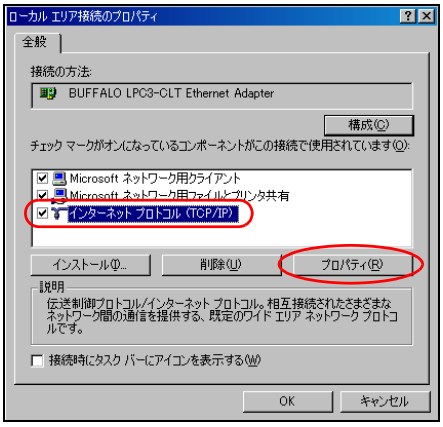
3「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



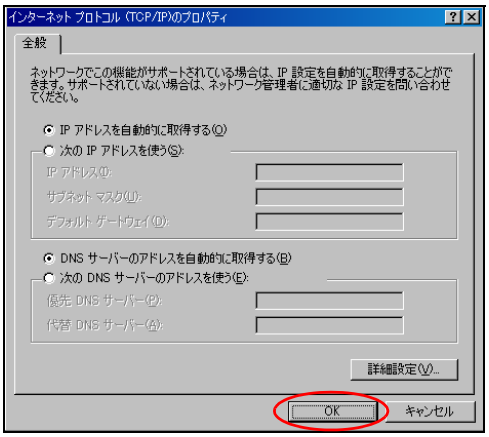
4「プロパティ」ボタンをクリックします。



5「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

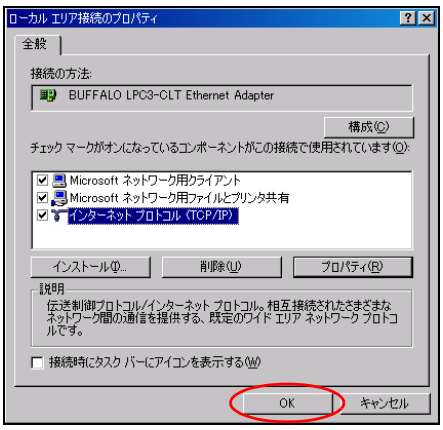


6 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



選択する	IP アドレスを自動的に取得する
	DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する

7「OK」ボタンをクリックします。

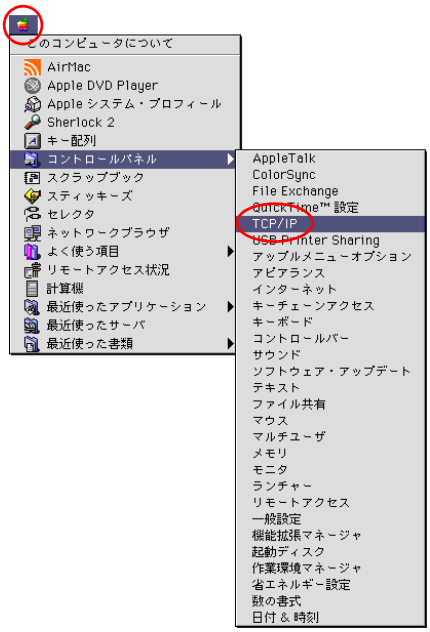


画面が閉じ、設定が終了します。

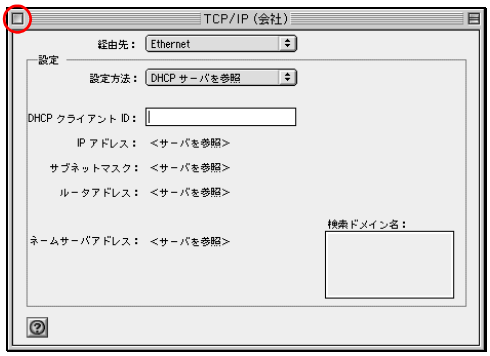
続いて「IP アドレスの取得を確認する」（P.15）をご覧ください。

Mac OS 9 の場合

1 アップルメニューをクリックし、「コントロールパネル」→「TCP/IP」をクリックします。



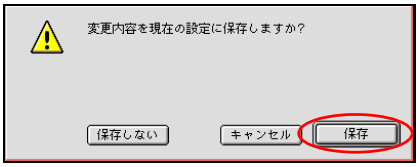
2 必要事項を入力し、左上隅のクローズボックスをクリックします。



経由先	「Ethernet」を選択します。
設定方法	「DHCP サーバを参照」を選択します。

次の手順の画面が表示されます。

3 「保存」ボタンをクリックします。



画面が閉じ、設定が終了します。

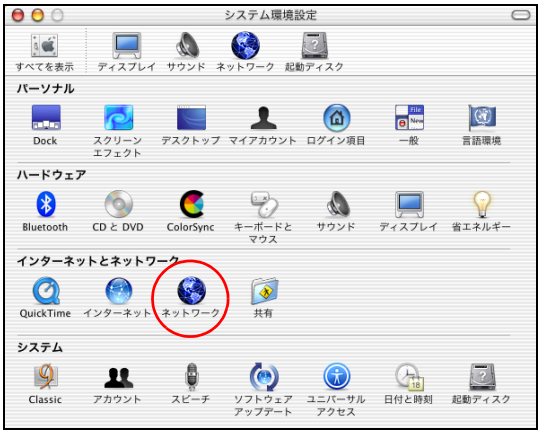
続いて「IP アドレスの取得を確認する」（P.15）をご覧ください。

Mac OS X 10.2 ～ 10.3 の場合

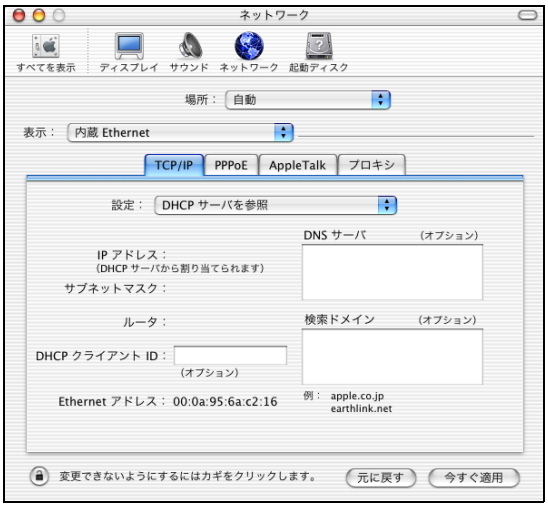
ここでは、Mac OS X 10.2 を例に、設定方法をご案内します。Mac OS X 10.3 も同様に設定できます。

1 アップルメニューをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

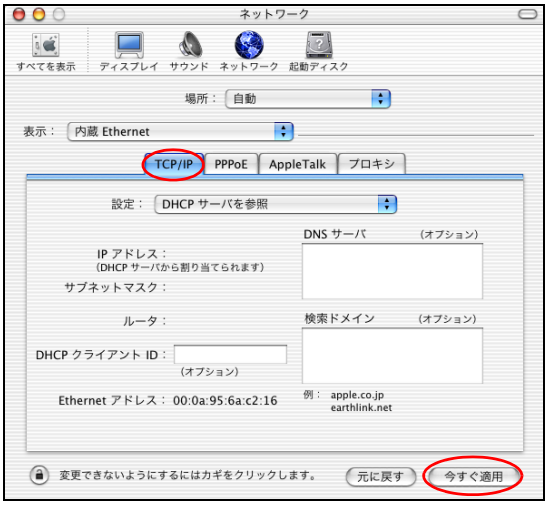


3 必要事項を入力します。



場所	「自動」を選択します。
表示	「内蔵 Ethernet」を選択します。

4 「TCP/IP」タブをクリックし、必要事項を入力して、「今すぐ適用」ボタンをクリックします。



設定	「DHCP サーバを参照」を選択します。

設定が終了します。

5 左上隅のクローズボタンをクリックします。

画面が閉じます。

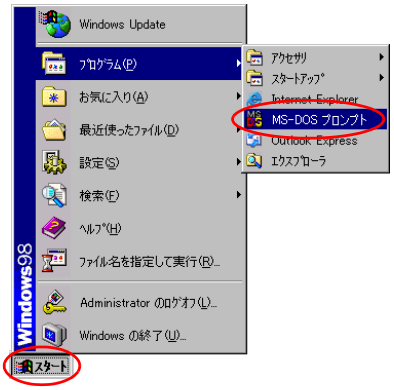
続いて「IP アドレスの取得を確認する」（P.15）をご覧ください。

IP アドレスの取得を確認する

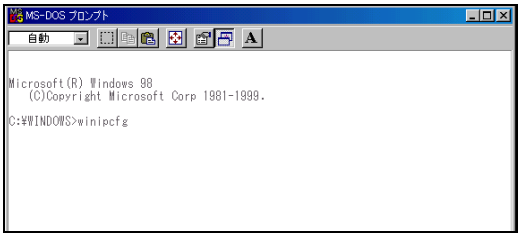
ADSL モデムから IP アドレスが取得できていることを確認します。パソコンの OS によって操作が異なります。

Windows 98 ／ Me の場合

1 「スタート」をクリックし、「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」をクリックします。



2 半角文字で winipcfg と入力し、Enter キーを押します。



3 数値を確認します。

※ADSL モデムの機種によって、数値が異なります。

※複数台のパソコンを接続する場合、IP アドレスの下 1 桁が変化します。

IP アドレス	192.168.0.2（DR207C の場合）
	192.168.1.2（TE4121C の場合）
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1（DR207C の場合）
	192.168.1.1（TE4121C の場合）

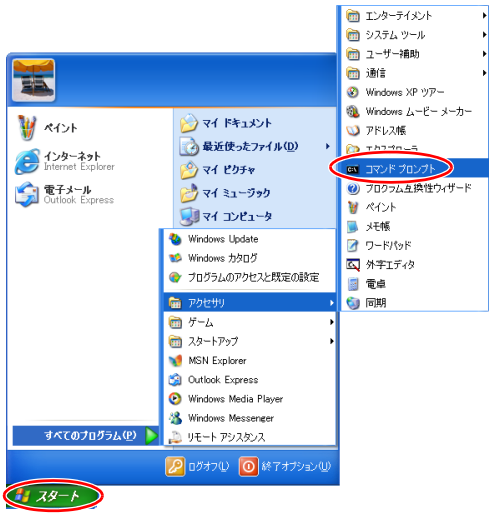
4 数値が正常な場合は、「OK」ボタンをクリックします。

数値が異常な場合
「開放」ボタンをクリックし、続いて「書き換え」ボタンをクリックします。それでも正常な数値にならない場合、ADSL モデムとパソコンの接続やパソコンの設定を見直します。
IP アドレスの取得に失敗すると、多くの場合「169.254.xxx.xxx」と表示されます。

続いて「インターネットに接続する」（P.18）をご覧ください。

Windows 2000 ／ XP の場合

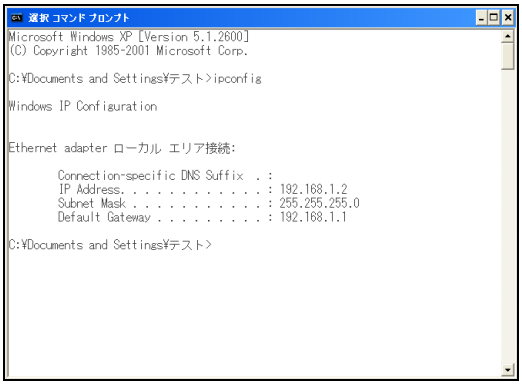
1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックします。



※Windows 2000 では、「スタート」をクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 半角文字で ipconfig と入力し、Enter キーを押します。

3 数値を確認します。



※ADSL モデムの機種によって、数値が異なります。

※複数台のパソコンを接続する場合、IP アドレスの下 1 桁が変化します。

IP Address	192.168.0.2（DR207C の場合）
	192.168.1.2（TE4121C の場合）
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1（DR207C の場合）
	192.168.1.1（TE4121C の場合）

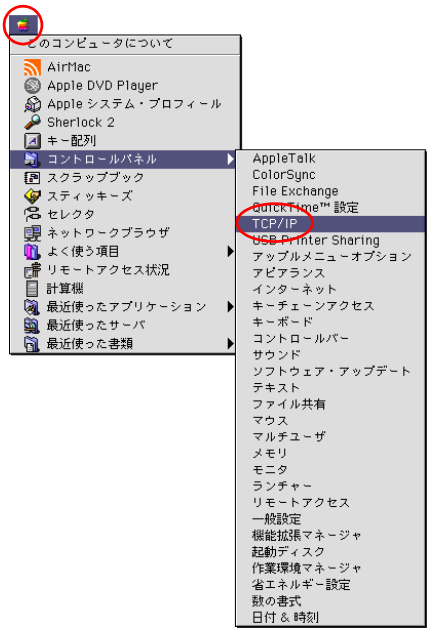
4 数値が正常な場合は、右上隅の「×」ボタンをクリックします。

数値が異常な場合
半角文字で ipconfig/renew と入力し、Enter キーを押します。それでも正常な数値にならない場合、ADSL モデムとパソコンの接続やパソコンの設定を見直します。
IP Address の取得に失敗すると、多くの場合「169.254.xxx.xxx」と表示されます。

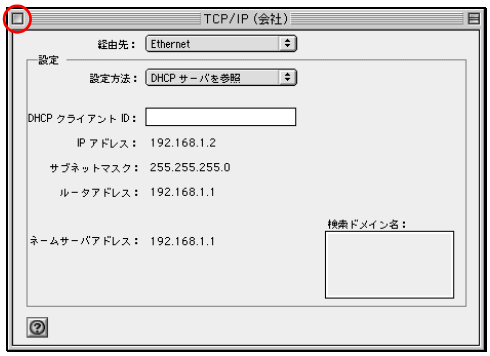
続いて「インターネットに接続する」（P.18）をご覧ください。

Mac OS 9 の場合

1 アップルメニューをクリックし、「コントロールパネル」→「TCP/IP」をクリックします。



2 数値を確認し、左上隅のクローズボックスをクリックします。



※ADSL モデムの機種によって、数値が異なります。

※複数台のパソコンを接続する場合、IP アドレスの下 1 桁が変化します。

IP アドレス	192.168.0.2（DR207C の場合）
	192.168.1.2（TE4121C の場合）
サブネットマスク	255.255.255.0
ルータアドレス	192.168.0.1（DR207C の場合）
	192.168.1.1（TE4121C の場合）

数値が異常な場合
ADSL モデムとパソコンの接続やパソコンの設定を見直します。
IP アドレスの取得に失敗すると、多くの場合「169.254.xxx.xxx」と表示されます。

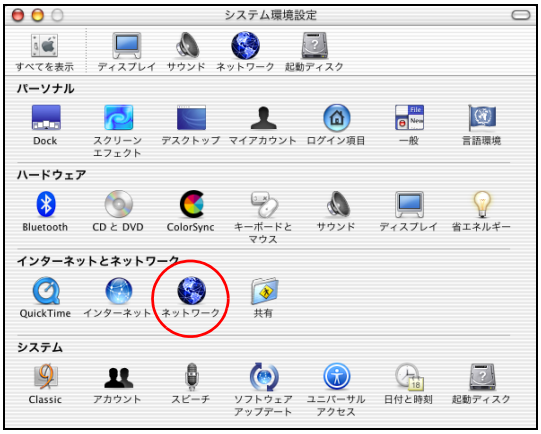
続いて「インターネットに接続する」（P.18）をご覧ください。

Mac OS X 10.2 ～ 10.3 の場合

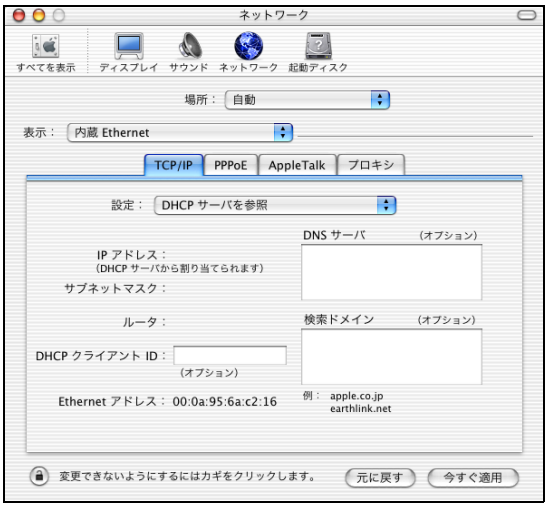
ここでは、Mac OS X 10.2 を例に、設定方法をご案内します。Mac OS X 10.3 も同様に設定できます。

1 アップルメニューをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

2「ネットワーク」をクリックします。



3 必要事項を入力します。



場所	「自動」を選択します。
表示	「内蔵 Ethernet」を選択します。

4「TCP/IP」タブをクリックし、数値を確認し、左上隅のクローズボタンをクリックします。

※ADSL モデムの機種によって、数値が異なります。

※複数台のパソコンを接続する場合、IP アドレスの下 1 桁が変化します。

IP アドレス	192.168.0.2 （DR207C の場合）
	192.168.1.2 （TE4121C の場合）
サブネットマスク	255.255.255.0
ルータ	192.168.0.1 （DR207C の場合）
	192.168.1.1 （TE4121C の場合）

数値が異常な場合
ADSL モデムとパソコンの接続やパソコンの設定を見直します。
IP アドレスの取得に失敗すると、多くの場合「169.254.xxx.xxx」と表示されます。

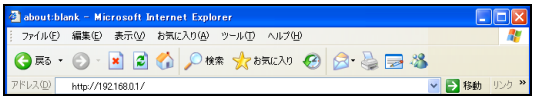
続いて「インターネットに接続する」（P.18）をご覧ください。

インターネットに接続する

ADSL モデムを設定し、インターネットに接続します。ADSL モデムの機種によって操作が異なります。

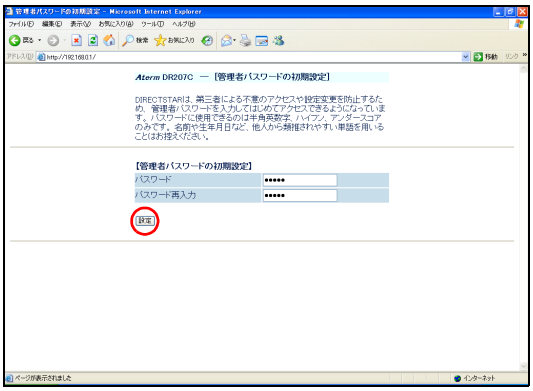
NEC 製（DR207C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。



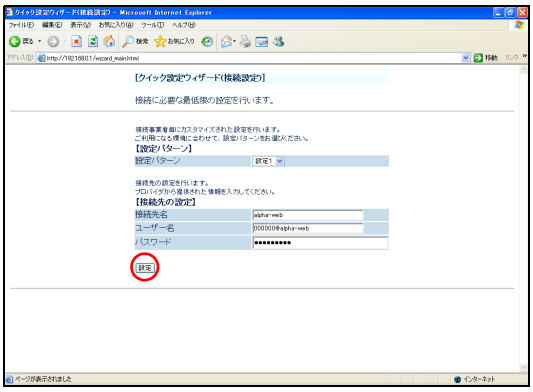
アドレス欄	http://192.168.0.1/ と、半角文字で入力します。

2 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



パスワード	aterm と、半角文字で入力します。
パスワード再入力	aterm と、もう一度入力します。

3 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

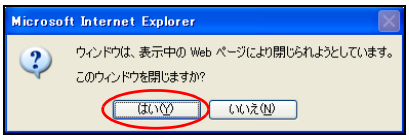


設定パターン	「設定 1」を選択します。
接続先名	alpha-web と、入力します。
ユーザー名	ADSL 認証 ID を、半角文字で入力します。
パスワード	alpha-web と、半角文字で入力します。

ADSL モデムが再起動します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 「はい」ボタンをクリックします。



設定が終了します。

6 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

アドレス欄	http://www.alpha-web.jp/ と、半角文字で入力します。

7 αWeb のホームページが表示されていることを確認します。

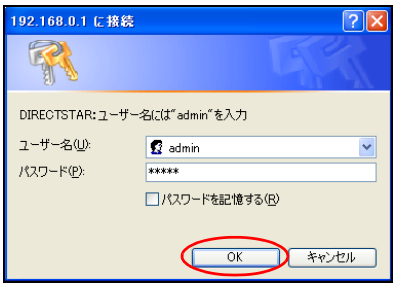
ホームページが表示されないときは

以下の手順で、ADSL モデムを設定しなおします。

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

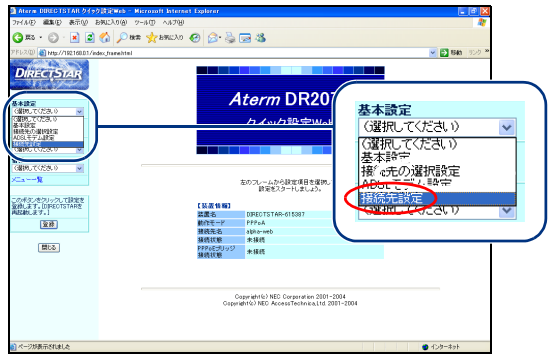
アドレス欄	http://192.168.0.1/ と、半角文字で入力します。

2 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

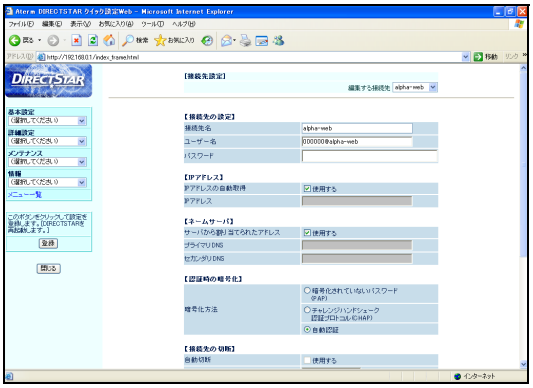


ユーザー名	admin と、半角文字で入力します。
パスワード	aterm と、半角文字で入力します。

3 「基本設定」をクリックし、「接続先設定」をクリックします。

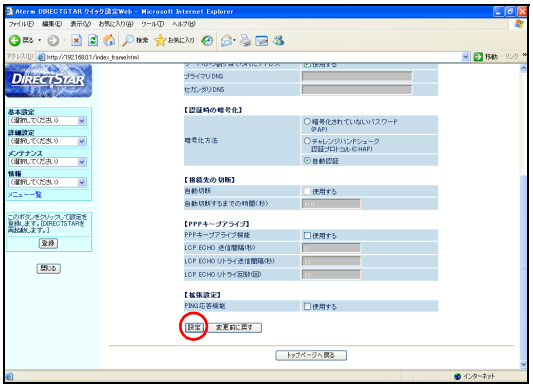


4 必要事項を入力します。

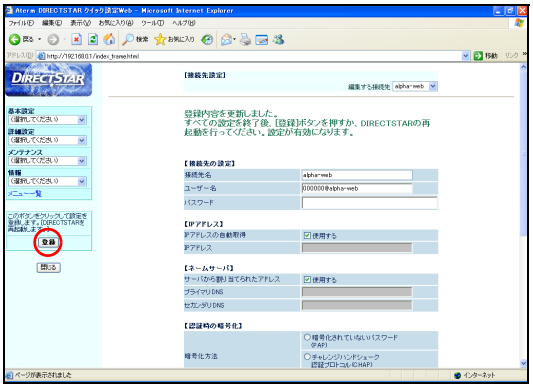


ユーザー名	ADSL 認証 ID を、半角文字で入力します。
パスワード	alpha-web と、半角文字で入力します。

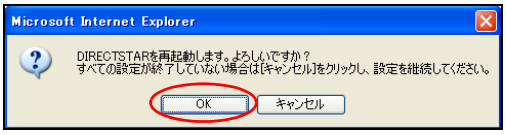
5 「設定」ボタンをクリックします。



6 「登録」ボタンをクリックします。

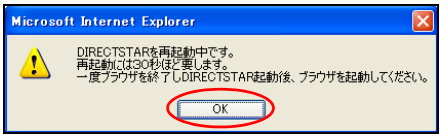


7 「OK」ボタンをクリックします。



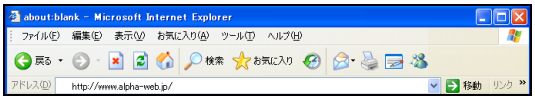
ADSL モデムが再起動し、設定が反映されます。

8 「OK」ボタンをクリックします。



設定の変更が終了しました。

9 必要事項を入力して、Enter キーを押します。



アドレス欄	http://www.alpha-web.jp/ と、半角文字で入力します。

10 αWeb のホームページが表示されていることを確認します。

このあとの操作を確認する

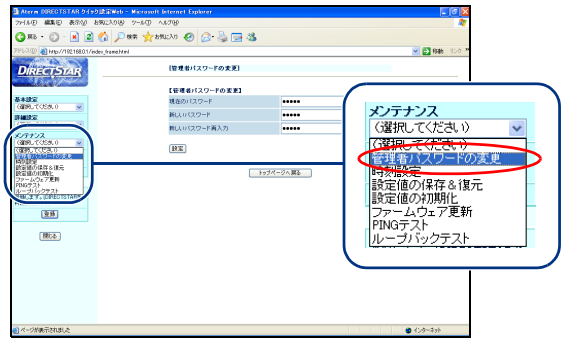
パソコンが 1 台の場合と、複数のパソコンをハブを使って ADSL モデムに接続する場合は、設定はこれで終了です。以下の場合は、ADSL モデムとパソコンの設定を変更します。

■既存のネットワークで使う場合
「既存のネットワークで使う設定」（P.23）をご覧ください。

■エンタープライズ接続サービスをご利用の場合
「エンタープライズ接続サービス設定」（P.25）をご覧ください。

■ブロードバンドルータを取り付ける場合
「ブリッジモード設定」（P.28）をご覧ください。

■セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。「ホームページが表示されないときは」（P.19）の手順 1 ～手順 2 を行い、「メンテナンス」の「管理者パスワードの変更」をクリックします。
パスワードには、他人に推測されやすい単語を使わないことをお勧めします。

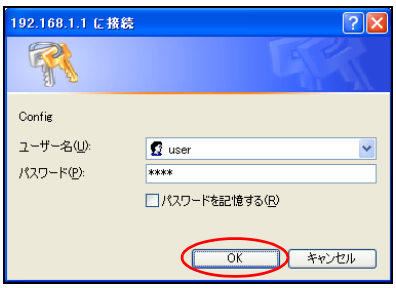


住友電工製（TE4121C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

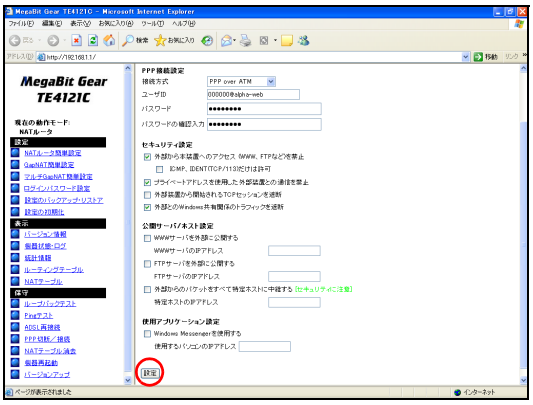
アドレス欄	http://192.168.1.1/ と、半角文字で入力します。

2 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



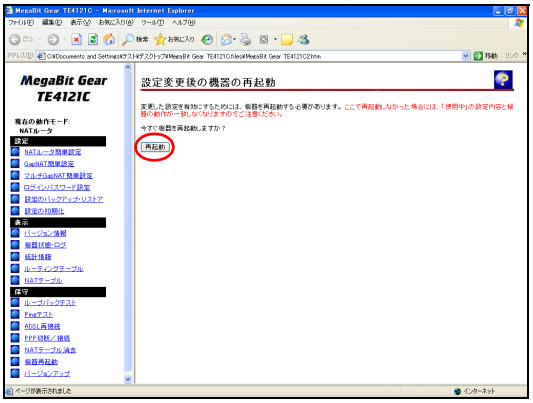
ユーザー名	user と、半角文字で入力します。
パスワード	user と、半角文字で入力します。

3 必要事項を入力して、「設定」ボタンをクリックします。



接続方法	「PPP over ATM」を選択します。
ユーザ ID	ADSL 認証 ID を、半角文字で入力します。
パスワード	alpha-web と、半角文字で入力します。
パスワードの確認入力	alpha-web と、もう一度入力します。
チェックする	外部から本装置へのアクセス（WWW、FTP など）を禁止
	プライベートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止
	外部との Windows 共有関係のトラフィックを遮断
チェックを外す	ICMP、IDENT（TCP/113）だけは許可
	外部装置から開始される TCP セッションを遮断

4 「再起動」ボタンをクリックします。



設定が終了し、「再表示」ボタンが表示されます。

5 必要事項を入力して、Enter キーを押します。

アドレス欄	http://www.alpha-web.jp/ と、半角文字で入力します。

6 αWeb のホームページが表示されていることを確認します。

ホームページが表示されない場合
「住友電工製（TE4121C）の場合」（P.21）の手順 1 ～手順 6 を、再び行います。

このあとの操作を確認する

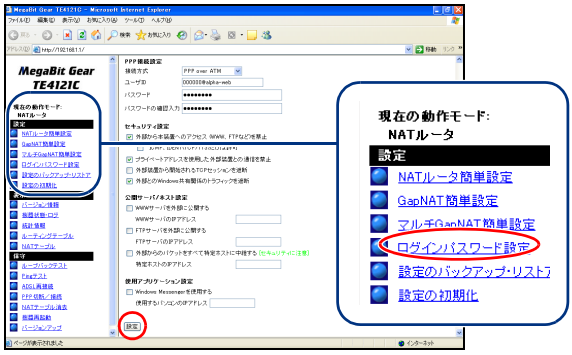
パソコンが 1 台の場合と、複数のパソコンをハブを使って ADSL モデムに接続する場合は、これで終了です。以下の場合は、ADSL モデムとパソコンの設定を変更します。

■既存のネットワークで使う場合
「既存のネットワークで使う設定」（P.23）をご覧ください。

■エンタープライズ接続サービスをご利用の場合
「エンタープライズ接続サービス設定」（P.25）をご覧ください。

■ブロードバンドルータを取り付ける場合
「ブリッジモード設定」（P.28）をご覧ください。

■セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。手順 1 ～ 2 を行い、「ログインパスワード設定」をクリックします。パスワードには、他人に推測されやすい単語を使わないことをお勧めします。



上級者向けの設定をする

「インターネットに接続する」（P.18）で接続を確認したあとで、必要に応じて設定します。ADSL モデムの機種によって操作が異なります。

既存のネットワークで使う設定

既存のネットワークに ADSL モデムを導入する場合、既存のネットワークにあわせて ADSL モデムの設定を変更します。

■ネットワーク環境の例

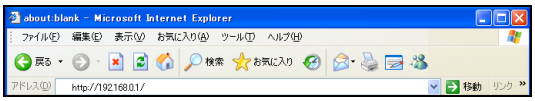
例として、以下のネットワークに ADSL モデムを導入する場合を説明します。ADSL モデムは、ネットワークのデフォルトゲートウェイになります。

ネットワークアドレス	172.21.1.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	172.21.1.1

ネットワーク環境はお客様により異なります。設定を変更する際はご注意ください。

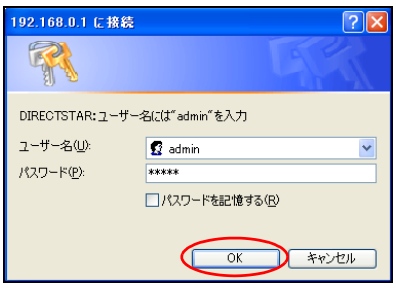
NEC 製（DR207C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。



アドレス欄	http://192.168.0.1/ と、半角文字で入力します。

2 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

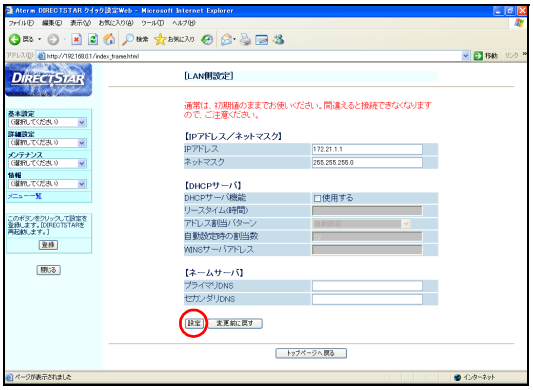


ユーザー名	admin と、半角文字で入力します。
パスワード	aterm と、半角文字で入力します。

セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。詳しくは、「セキュリティを保つために」（P.20）をご覧ください。

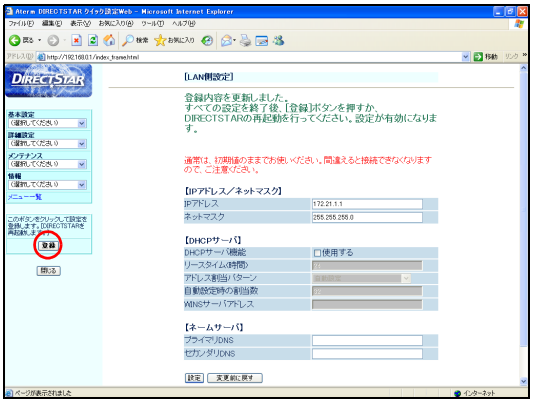
3 「詳細設定」をクリックし、「LAN 側設定」をクリックします。

4 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

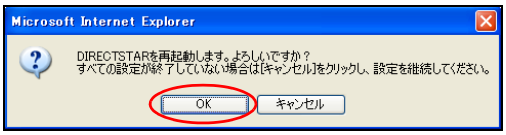


IP アドレス	デフォルトゲートウェイの数値（例：172.21.1.1）を入力します。
ネットマスク	サブネットマスクの数値（例：255.255.255.0）を入力します。
DHCP サーバー機能	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、チェックを外します。

5「登録」ボタンをクリックします。

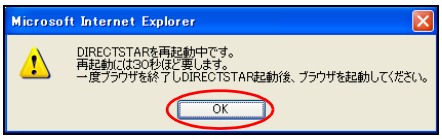


6「OK」ボタンをクリックします。



ADSL モデムが再起動し、設定が反映されます。

7「OK」ボタンをクリックします。



設定の変更が終了しました。ADSL モデムを既存のネットワークに取り付けてください。その後、お客様のネットワーク環境に合わせて、パソコンの設定を変更します。

住友電工製（TE4121C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

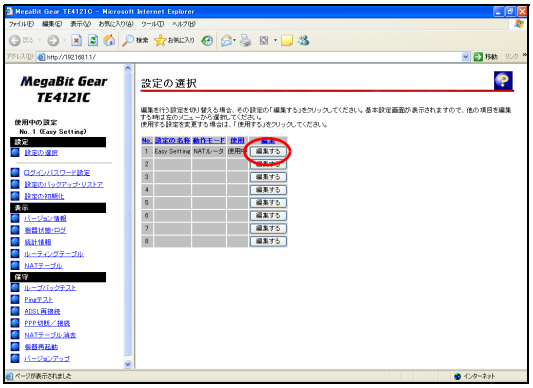
アドレス欄	http://192.168.1.1/ と、半角文字で入力します。

2 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー名	root と、半角文字で入力します。
パスワード	root と、半角文字で入力します。

セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。詳しくは、「セキュリティを保つために」（P.22）をご覧ください。

3「編集する」ボタンをクリックします。



4 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

LAN 側 IP アドレス	デフォルトゲートウェイの数値（例：172.21.1.1）を入力します。
マスク長	例：24 と、入力します。
DHCP サーバ	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、「使用しない」を選択します。

5 「機器の再起動画面へ」をクリックします。

6 「再起動」ボタンをクリックします。

ADSL モデムが再起動し、設定が反映されます。
ADSL モデムを既存のネットワークに取り付けてください。その後、お客様のネットワーク環境に合わせて、パソコンの設定を変更します。

エンタープライズ接続サービス設定

エンタープライズ接続サービスをご利用の場合、取得したグローバル IP アドレスのうち任意の 1 個を、ADSL モデムの LAN 側に割り当てます。

「インターネットに接続する」（P.18）の設定では、ADSL モデムの LAN 側にプライベート IP アドレスが設定されています。

■ ネットワーク環境の例

例として、以下のネットワークを構築する場合を説明します。ADSL モデムの LAN 側は、ネットワークのデフォルトゲートウェイになります。

取得 IP アドレス	172.21.1.0 ～ 172.21.1.7
ネットワークアドレス	172.21.1.0（取得 IP アドレスの最小値）
サブネットマスク	255.255.255.248
デフォルトゲートウェイ	172.21.1.1（任意）
ブロードキャスト	172.21.1.7（取得 IP アドレスの最大値）

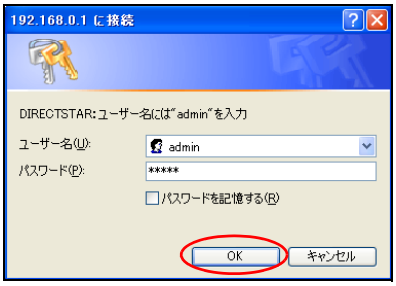
お客様の取得 IP アドレスについては、本冊子と共に郵送された『イー・アクセスコース　エンタープライズ（8・16 個）開通のお知らせ』をご覧ください。
ADSL モデムの WAN 側の IP アドレスは、αweb より直接割り当てられます。
ネットワーク環境はお客様により異なります。設定を変更する際はご注意ください。

NEC 製（DR207C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

アドレス欄	http://192.168.0.1/ と、半角文字で入力します。

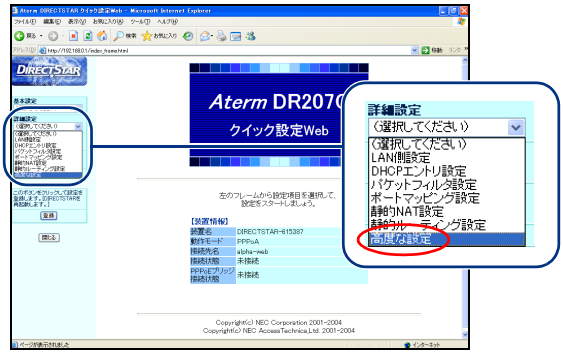
2 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



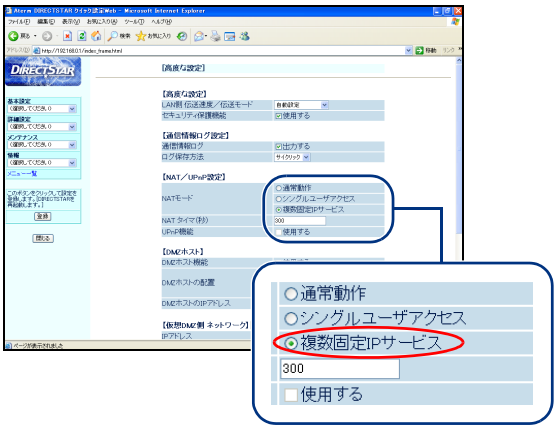
ユーザー名	admin と、半角文字で入力します。
パスワード	aterm と、半角文字で入力します。

セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。詳しくは、「セキュリティを保つために」（P.20）をご覧ください。

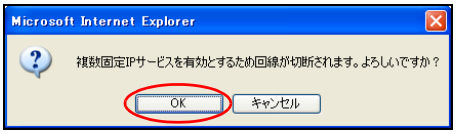
3「詳細設定」をクリックし、「高度な設定」をクリックします。



4「複数固定 IP サービス」を選択します。

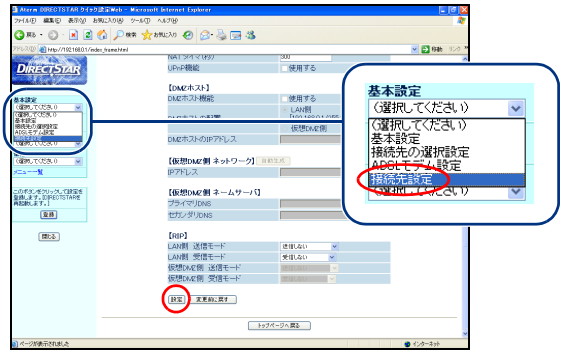


5「OK」ボタンをクリックします。

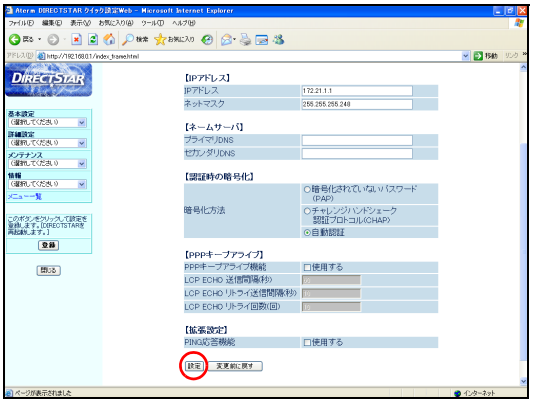


6「OK」ボタンをクリックします。

7「設定」ボタンをクリックし、「基本設定」をクリックして、「接続先設定」をクリックします。

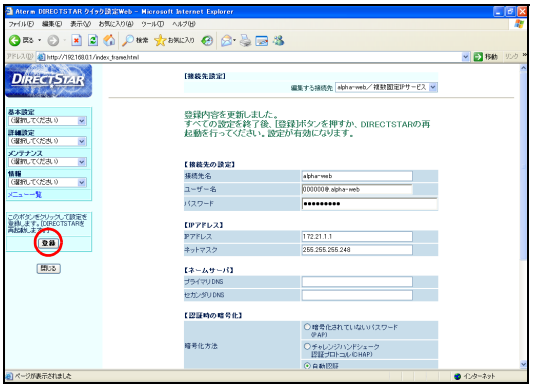


8 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

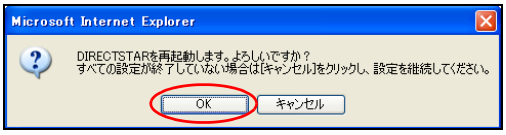


IP アドレス	デフォルトゲートウェイの数値（例：172.21.1.1）を入力します。
ネットマスク	255.255.255.248 と、入力します。（8 個のグローバル IP アドレスを取得する契約の場合）
	255.255.255.240 と、入力します。（16 個のグローバル IP アドレスを取得する契約の場合）
PPP キープアライブ	「使用する」をチェックします。

9「登録」ボタンをクリックします。

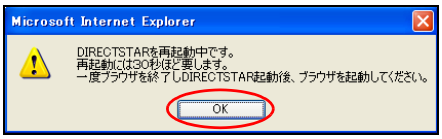


10「OK」ボタンをクリックします。



ADSL モデムが再起動し、設定が反映されます。

11「OK」ボタンをクリックします。



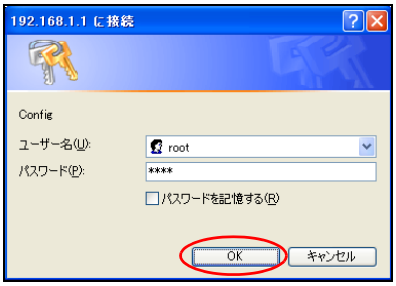
設定の変更が終了しました。ネットワークの構築に ADSL モデムをご利用ください。必要に応じて、パソコンの設定も変更します。

住友電工製（TE4121C）の場合

1 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

アドレス欄	http://192.168.1.1/ と、半角文字で入力します。

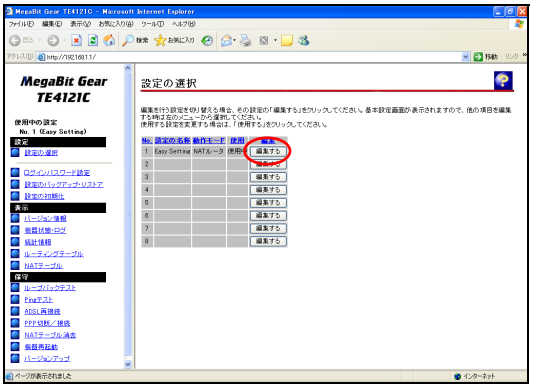
2 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



ユーザー名	root と、半角文字で入力します。
パスワード	root と、半角文字で入力します。

セキュリティを保つために
インターネットへの接続を確認したあとで、パスワードを変更することをお勧めします。詳しくは、「セキュリティを保つために」（P.22）をご覧ください。

3「編集する」ボタンをクリックします。

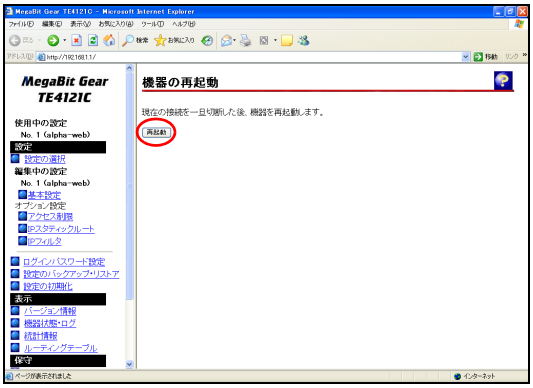


4 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

設定の名称	alpha-web と、入力します。
動作モード	「IP ルータ」を選択します。
LAN 側 IP アドレス	デフォルトゲートウェイの数値（例：172.21.1.1）を入力します。
マスク長	29 と、入力します。（8 個のグローバル IP アドレスを取得する契約の場合）
	28 と、入力します。（16 個のグローバル IP アドレスを取得する契約の場合）
DHCP サーバ	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、「使用しない」を選択します。

5「機器の再起動画面へ」をクリックします。

6「再起動」ボタンをクリックします。



ADSL モデムが再起動し、設定が反映されます。
ネットワークの構築に ADSL モデムをご利用ください。必要に応じて、パソコンの設定も変更します。

ブリッジモード設定

市販のブロードバンドルータを ADSL モデムに接続する場合、ADSL モデムをブリッジモードに設定します。

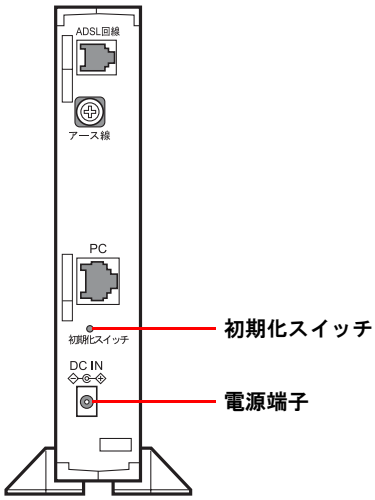
ブロードバンドルータを購入する際は、あらかじめ「ご利用になれるブロードバンドルータ」（P.3）をご覧ください。

エンタープライズ接続サービス
エンタープライズ接続サービスをご利用の場合、ADSL モデムをブリッジモードに設定しないでください。

NEC 製（DR207C）の場合

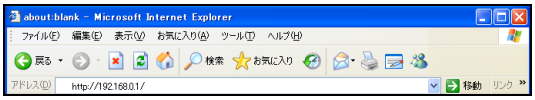
1 ADSL モデムから AC アダプタを取り外します。

2 ADSL モデムの初期化スイッチに先が尖っていないピンなどを差し込んだまま、電源端子に AC アダプタを接続します。PPP ランプが点滅したら、ピンを離します。



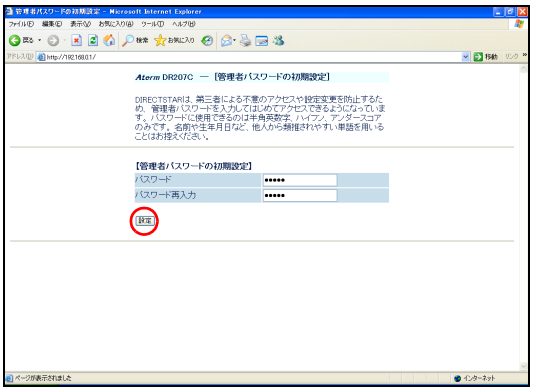
ADSL モデムの設定が初期化されます。

3 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。



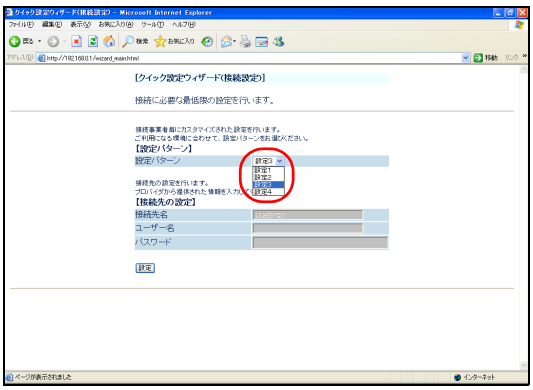
アドレス欄	http://192.168.0.1/ と、半角文字で入力します。

4 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



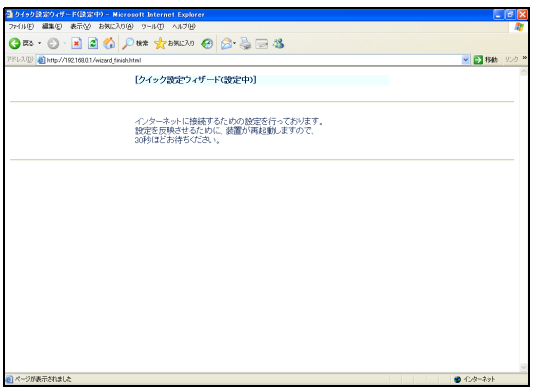
パスワード	aterm と、半角文字で入力します。
パスワード再入力	aterm と、もう一度入力します。

5 「設定パターン」のメニューをクリックし、「設定 3」を選択します。



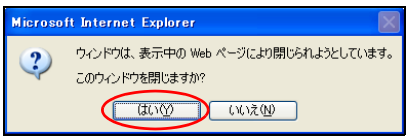
設定を再び変更するには
この操作を実行すると、手順 3 の操作を行ってもADSL モデムの設定画面が表示されなくなります。ADSL モデムの設定を変更するには、手順 1 ～手順 2 の操作（ADSL モデムの初期化）を行ってください。

6 「設定が完了しました。」と表示されるまで待ちます。



7 「OK」ボタンをクリックします。

8 「はい」ボタンをクリックします。



設定が終了します。

9 ブロードバンドルータを接続します。

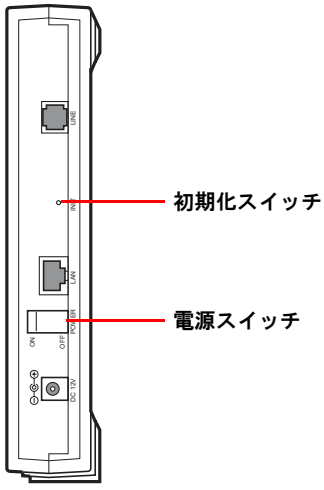
※ブロードバンドルータの接続と設定については、ブロードバンドルータの取扱説明書をご覧ください。

必要に応じて、パソコンの設定も変更します。

インターネットに接続できないときは
全てのインターネット接続機器の電源を切り、約 10 分後に電源を入れ、インターネット接続できるかご確認ください。

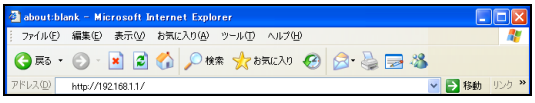
住友電工製（TE4121C）の場合

1 ADSL モデムの初期化スイッチに先が尖っていないピンなどを差し込んだまま、電源スイッチを入にします。約 5 秒後にピンを離します。



PPP ランプが 1 秒ごとに「緑⇔オレンジ」と交互に点灯し、ADSL モデムの設定が初期化されます。

2 ブラウザ（Internet Explorer など）を立ち上げ、必要事項を入力して、Enter キーを押します。

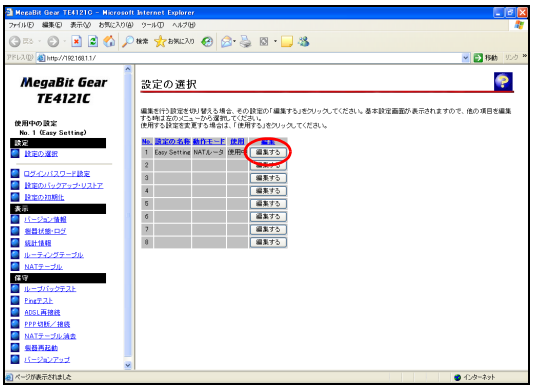


アドレス欄	http://192.168.1.1/ と、半角文字で入力します。

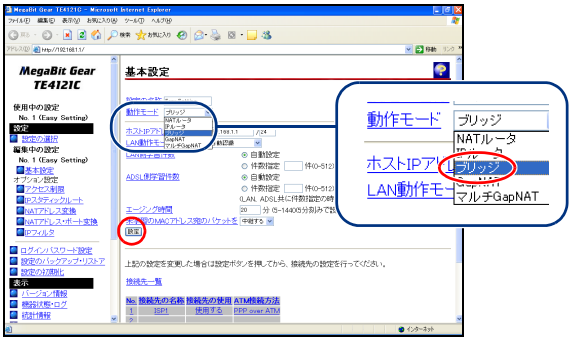
3 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

ユーザー名	root と、半角文字で入力します。
パスワード	root と、半角文字で入力します。

4 「編集する」ボタンをクリックします。



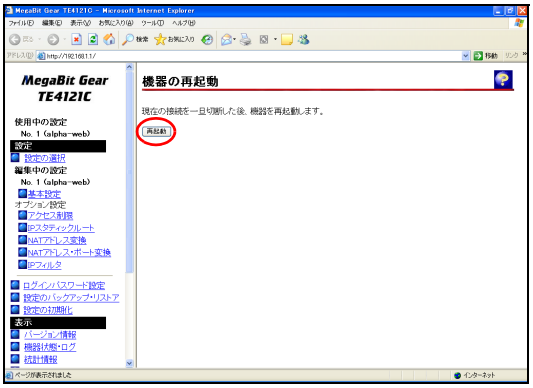
5 「動作モード」のメニューをクリックし、「ブリッジ」を選択して、「設定」をクリックします。



設定を再び変更するには
この操作を実行すると、手順 2 の操作を行っても ADSL モデムの設定画面が表示されなくなります。ADSL モデムの設定を変更するには、手順 1 の操作（ADSL モデムの初期化）を行ってください。

6 「機器の再起動画面へ」をクリックします。

7 「再起動」ボタンをクリックします。



設定が終了し、「再表示」ボタンが表示されます。

8 ブロードバンドルータを接続します。

※ブロードバンドルータの接続と設定については、ブロードバンドルータの取扱説明書をご覧ください。

必要に応じて、パソコンの設定も変更します。

インターネットに接続できないときは
全てのインターネット接続機器の電源を切り、約 10 分後に電源を入れ、インターネット接続できるかご確認ください。